

建設産業の変革と新たな価値提供への挑戦を加速 働く時間や場所を制約せず自由に選べる ABW (Activity Based Working) を導入

BuildApp（ビルドアップ）で建設DXに取り組む野原グループ株式会社（所在：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔）は、働く時間や場所を制約せず自由に選べる ABW（Activity Based Working）の取り組みを導入し、2024年9月に新宿本社のオフィス进行全面リニューアルいたしました（※）。

野原グループは、建設サプライチェーンの変革を促し、建設DXを推進する基盤環境を提供する BuildApp 事業を通じた社会貢献と「新たな価値提供への挑戦」で会社全体が大きく変わろうとしています。

今回の ABW 導入をきっかけに、事業部の垣根を超えた「挑戦する社風の一層の醸成」を図り、コミュニケーション機会の創出によるワクワク感、事業に貢献する新しい発想を生み出す土壌づくりを目指します。同時に、仕事に合わせた働きやすさを実現し、社員一人ひとりの労働生産性の向上を事業成長スピードの加速につなげてまいります。



画像上：2階旧オフィス 画像下：2階新オフィスの様子

（※）新宿本社に入居するノラスチール株式会社、野原産業セメント株式会社、株式会社アークノハラなどのグループ企業も ABW を導入しました。

ABW (Activity Based Working) とは

その時々の仕事の内容に合わせて、働く場所を自由に選択する働き方を指します。

1人で集中して作業したい時には周囲から隔離されたワークスペース、アイデア出しや企画の検討を行う時はクリエイティブに作業ができるエリアを使うなど、そのときの作業内容に合わせて働く場所を選ぶことが ABW の特徴です。

ABW 導入の背景

建設産業は過渡期を迎え、これまでとは違う新たな価値の提供や効率的に生産性を上げることが求められています。BuildApp 事業に取り組む野原グループでは、これまでも仕事のパフォーマンスを最大化できる環境づくりを目指し、フレックスタイムやリモートワークなど、社員の多様な働き方を尊重しています。ここから更に建設産業への変革と新たな価値提供への挑戦を加速させるために、各人の活動・仕事内容に合わせて柔軟に働く場所を選択できる ABW の導入に至りました。働く環境を整えることで、社員一人ひとりのパフォーマンスをあげ、BuildApp 事業を主軸とした建設DX推進事業の強化・加速に努めます。

今後の展開

ABW 導入により、オフィス内は固定席を無くしフリーアドレスにしています。ここから社内でのプロパー社員と中途社員の交流を活性化させることで、コミュニケーション機会の創出によるワクワク感、そこから新たなシナジーの発生、そして今までにない新たな発想が生まれるための土壌づくりを図ります。

今後は、全国にある野原グループの各拠点をはじめとする全グループ会社にも ABW を導入予定です。グループ全体でパフォーマンスが上がる環境づくりを目指し、「建設DXで、社会を変えていく」とのブランドメッセージを体現すべく、建設DX推進事業を通じて、社会に貢献します。

オフィスリニューアルの詳細

・8階 <meeting フロア>

ガラスを多用した開放的な会議室や、Webブースなどを集約したフロア

・4/5階 <Group Work フロア>

円卓など打合せスペースを多く用意し、

事業会社・部署の垣根を超えた会話が活発になることを目的としたフロア

・3階 <library フロア>

図面やカタログ類など業務に必要な資料を集約したフロア

資料を活用して仕事やミーティングをするための席も用意

・2階 <Solo Work フロア>

視線を遮るルーフ付きブースなどを用意し、集中するためのフロア

協働業務に便利な2人用集中ブース席等も用意

・1階 <meeting フロア>

来客対応を含めたミーティングに使用可能なフロア



BIM 設計-製造-施工支援プラットフォーム「BuildApp」について ※登録商標取得済み



建設プロセスに、革新と未来を。

「BuildApp（ビルドアップ）」は、設計事務所やゼネコンが作成したBIM設計データをより詳細なデータに置き換え、各建設工程で必要なデータとして利活用し建設工程全体の生産性向上を実現するクラウドサービスです。設計積算から製造・流通・施工管理・維持管理までをBIMでつなぐ複数のサービスにより、各プレイヤーに合わせたサービスを提供します。そして、設計・施工の手間・手戻りをなくし、製造・流通を最適化して、コスト削減と廃棄物・CO2削減に貢献します。

「BuildApp」は、建設サプライチェーンの抜本的な効率化と未来へ繋がる成長をサポートし、皆さまと一緒に建設業界をアップデートしていきます。



私たちがBuildAppで実現したいこと

- ・BIM起点のデータで建設関係者を繋いで連携を生む
- ・工程の可視化や業務の自動化により業界内の無駄を解消する
- ・DXⁱによる生産性向上や廃材・CO2排出量の削減を目指す建設企業とともに、サプライチェーンⁱⁱを変革し、「建設DXで、社会を変えていく」

<お問い合わせ先>

BuildApp WEB	https://build-app.jp/		
お問い合わせ先	フォーム入力	https://build-app.jp/contact/	電話 03-4535-1158

野原グループ株式会社について

野原グループ株式会社を中心とする野原グループ各社は、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッションのもと、変わる建設業界のフロントランナーとしてステークホルダーの皆さまとともに、サプライチェーンの変革と統合を推し進めます。



建設DXで、社会を変えていく

社会を支える建設産業の一員である私どもが、業界から排出される廃材量やCO2の削減、生産性向上による働き方改革を実現し、サステナブルに成長していく未来の実現を目指します。

<https://nohara-inc.co.jp>

【本件に関する報道関係者からの問合せ先】

野原グループ株式会社

マーケティング部 ブランドコミュニケーション課（担当：森田・齋藤・萩谷）

E-Mail：nhrpreso@nohara-inc.co.jp

ⁱ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、経済産業省の定義によれば「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」を指し、単なるデジタル活用とは区別されています。

ⁱⁱ サプライチェーンとは、商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れのことをいいます。